災害拠点への通行空間確保

- 〇 令和3年5月に専用部が全線開通し、広域的な緊急輸送道路網が繋がるが、一般部の暫定2車線区間では 災害時の車両滞積等による道路閉塞が懸念され、防災拠点への接続に関する課題が残存
- 一般部の暫定2車線区間の4車線化により、災害時における緊急車両等の通行空間を確保することで、災害拠点への緊急輸送道路網を早期に開通させ、物資輸送や人命救助への寄与が期待

○緊急輸送道路網図 ○災害拠点への通行空間確保 国道302号 名古屋環状2号線【一般部】 延長58.6km 東北部 暫定2車線 西北部 暫定2車線 完成4車線 松河戸IC 拠点間のアクセスルートとして、 延長5.0km 延長5.2km 延長9.7km 302号の一般部の通行が必要と なるが、暫定2車線区間が残存 :第1次緊急輸送道路 : 第2次緊急輸送道路 ☆:地域内輸送拠点(広域受援計画) : 救助活動拠点候補地(広域受援計画) 完成4車線 延長8.1km 7.5m 0.5m 7.5m 7.5m 0.5m 3.0m未満 対面通行不可 西南部 暫定2車線 延長4.2km 4車線化 完成4車線(一部6車線) 延長2.7km E1A 伊勢湾岸自動車道 伊勢湾岸自動車道 なごやみなみ 名古屋南 4車線化により、災害時に滞積車両を寄せた後も緊急車両等が対面通行可能

:第1次緊急輸送道路
:第2次緊急輸送道路

→災害時の物資輸送や人命救助に寄与